

平成 30 年 9 月

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 松樹学園
信州リハビリテーション専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人松樹学園 信州リハビリテーション専門学校 学校関係者評価委員会は「平成 29 年度自己評価結果」を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会委員

学外委員（五十音順）

青木 啓成 氏 相澤病院 運動器疾患リハセンター スポーツリハ部門科長
飯田 昭雄 氏 飯田昭雄税理士事務所
市村 勝巳 氏 長野県塩尻志学館高等学校 学校長
楯 あずさ 氏 信州リハビリテーション専門学校 同窓会会長
長嶋 孝男 氏 塩尻市贄川区 区長
野村 直味 氏 信州リハビリテーション専門学校 在校生保護者
原田 聡昭 氏 飯田市立病院 診療技術部長

学内委員

村松 秀明 信州リハビリテーション専門学校 学校長
小野 佳子 信州リハビリテーション専門学校 学科長
木島 隆 信州リハビリテーション専門学校 教務主任
小尾 勉 学校法人松樹学園 事務局長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

| 評価項目 | 評価・意見等 |
|----------------------------|--|
| 基準 1 教育理念・目標・育成 人材像等 | ① 将来構想の点には、校舎の貸与契約が関係しているのではないかとと思うがどうか。また、将来的にどのような方向に進むかという部分がクリアになっていくことを期待する。 回答：現時点では 3 年後まで校舎を無償貸与してもらう契約を結んでいる。その後のことは検討段階だが、有償貸与になる可能性が示唆されている。今後の方針については、方々への影響を考慮しつつ、検討している段階である。 |

| | |
|---------------------|---|
| | <p>② 学校の特色について、「接遇コンクール」が挙げられているが、それはどのようなイメージか。また、学生に対してのアピールになるのか。接遇面以外の、学生募集の柱となるような独自のものはあるか。</p> <p>回答：開校から力をいれて行ってきた「接遇」をアピールしていくという意味で「接遇コンクール」が挙げられているが、具体的なイメージについては今後検討していく必要がある。また、学生募集につながるかどうか、というのは課題の一つである。接遇以外の独自の柱としては、卒業教育の充実を考えている。</p> |
| <p>基準2 学校運営</p> | <p>① 情報システムによる業務の効率化について、教員によって言葉の定義が異なるのではないかと、ということだったが、なにか課題となっていることがあるのか。</p> <p>回答：情報システムの定義について、学校全体で統一されたものがあるわけではないが、そのことによる業務上の滞りは感じていない。情報配信システムの取入れにより、学生や保護者に対する連絡形態が改善されたとは感じている。</p> |
| <p>基準3 教育活動</p> | <p>① 早期補習へ取り組んでいるとあるが、そこに至った背景と具体的な補習内容について知りたい。</p> <p>回答：従来は定期試験の結果により補習に取り組んでいたが、今回は入学後の小テスト等の結果に基づき、定期試験前より実施した。内容については各学年で異なるが、1年生は勉強方法を教えることに重点を置いている。3年生は、問題に対する解説を各自で作成させるといった内容で実施した。</p> <p>結果として学生の理解度の底上げがなされたと感じている。また、「わかる」という体験を積み重ねることにより、勉強に対する意識の変化につながればと考えている。</p> <p>② 臨床実習体制の変更が順調とあるが、具体的にどういう変更か。また結果の分析が必要というのはどういうことか。</p> <p>回答：従来のレポート主体の実習体制から、患者様に触れる機会を増やし、臨床現場だからこそこできる経験を積むことに主眼をおいた実習体制(クリニカルクラークシップ)へ変更をした。レポート作成や発表、実技試験は実習後に学校で行い、それらの結果を総合して成績判定をする。結果の分析については、学生の経験や理解の様子や指導者側の受け取り方などの確認、分析を学校で行っていく必要があるということで考えている。</p> <p>③ 国家試験に不合格だった場合、学校としてどのようなフォロー</p> |

| | |
|--------------------------|--|
| | <p>体制があるのか。</p> <p>回答：多くの再受験者は「聴講生制度」を利用している。11月頃から始まる国家試験対策に特化した授業に、聴講生として参加している。また、通うことはできなくても、希望する学生は業者模試を受けられるように手配するなどのフォロー体制がある。</p> |
| <p>基準4 教育成果</p> | <p>① 「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価」の数値が低いことについて。改善案に、卒業教育の充実が挙げられているが、具体的にどのようなことを指すのか、また改善はどう判断するのか。</p> <p>回答：卒業教育について、臨床において必要な専門的知識・技術を学ぶ講習会、研修会をイメージしている。将来的には、専門の講師を招いて行うだけでなく、卒業生を講師として迎えることができると考えている。</p> |
| <p>基準5 学生支援</p> | <p>① 国家試験合格者全員が就職できたことは非常に良かった。</p> <p>② 経済的側面の支援というのは、兄弟・姉妹親子減免制度以外にもあるのか。</p> <p>回答：学費の延納・分納制度がある。</p> <p>③ 学生の通学の現状はどんな様子か。</p> <p>回答：中南信から通学する学生は、自宅通学が多い。東北信からの学生は、アパートを借りている者もいる。</p> |
| <p>基準6 教育環境</p> | <p>問題ないと思われる。</p> |
| <p>基準7 学生募集と受け入れ</p> | <p>① 大学を含む学校の無償化という話を聞いたが、貴校も対象になってくるのか。</p> <p>回答：現時点では把握していない。</p> <p>② 学生募集の実施状況について、対象となる学生確保が厳しくなると予測されるが、どのように行っているのか。</p> <p>回答：県内と近隣県の高校には資料一式を送付している。去年は県外の高校訪問も行った。</p> |
| <p>基準8 財務</p> | <p>問題ないと思われる。</p> |
| <p>基準9 法令等の遵守</p> | <p>問題ないと思われる。</p> |
| <p>基準10 社会貢献</p> | <p>① 学生ボランティア活動の推奨というのは、具体的にどういったものを考えているのか。</p> <p>回答：関連法人主催の夏祭り等イベントのお手伝い、電動車椅子サ</p> |

| | |
|-------------------------------------|--|
| | <p>ッカーイベントへの参加がある。また、通学路のごみ拾いを実施している。</p> <p>② 地域のお祭りへ学生が積極的に参加していることはとても良い。地域の方から、ぜひ継続でお願いしたいという声を聴いている。</p> <p>③ 学校祭を地域のお祭りと合同で行っている所はなかなかない。継続して行っていければと考えている。</p> |
| <p>基準 11 意見要望の把握及び その活用</p> | <p>① アンケートに対するフィードバックはどのように行っているのか。</p> <p>回答：アンケートに対するフィードバックについて、当初は行っていたが近年は実施していない。良い方法があれば検討していきたい。</p> <p>② アンケートのフィードバック方法について、保護者アンケートについては、書かれた要望を PTA 会議などで配布している。また、授業アンケートについては、回答を学校長と担当教員で話し合ったうえで、全授業に対してフィードバックを行っている。アンケートの統計結果については、HP 上で公開し、生徒に伝えている学校もあるようだ。</p> <p>回答：頂いた意見を基に、今後検討したい。</p> |